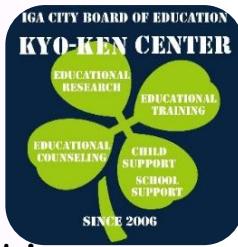


研修ニュース

〒518-0814 三重県伊賀市上友生785番地

TEL&FAX: 0595(21)8839

E-Mail: iga-ken@iga.ed.jp



研修講座 A-7 「俳句研修」を実施しました! 「俳句の教え方教室～子どもたちが輝く句会の授業～」 名張市立名張小学校 教諭 森永侑樹さん

6月5日(木)に、「俳句研修」の研修講座を行いました。

まず始めに森永先生から「子どもたちに俳句を指導するにあたって、一番大事なことは何だと思いますか」という問い合わせがありました。森永先生は「それは指導者自身、俳句が好きなこと・味わうことです」と話されました。その後、森永先生が代表を務めておられる「せんせいの句会」で作られた「THE kukai」を使って4人1組でワークショップを行いました。既



に子どもたちと体験されている先生方も多くおられました。上の句と下の句が全く同じ語でありながら、中の句の2音だけが空白です。そこに自分が引いたカードの中から一番合うと感じた2音のカードを出し、一番素敵だと感じた句に投票します。そこから一人一人がその句から想像される情景を伝え合いました。物事のとらえ方・見方・表し方はさまざまであり、グループからは「なるほど」「そういうイメージ、いいね」「その見方、私にはなかったな」等、意見交流する中で新たな視点に気づき、それぞれの情景を楽しく味わうことができました。

次に俳句の指導で困っていることや聞いてみたいこと等を出し合いました。ここでは森永先生と共に「せんせいの句会」のなかまである島ヶ原小学校教諭、福間健太さん作成の「俳句の指導書」も見ながら、実践的なお話をありました。なお、「俳句の指導書」については「Zサーバー→伊賀市教育研究センター→令和7年度研修講座資料」に入れてあります。福間先生からも「ぜひ使っていただければ」とお言葉をいただいています。俳句指導にご活用ください!

ご参加いただいた先生方には今後の実践に活かしていただくとともに、各校で還流いただきますようお願いいたします。

アンケートより【一部抜粋】

- とても楽しかったです。「俳句=夏休みの宿題」のイメージを少しでも楽しいものに変えていたらと思います。「THE kukai」の活用も担任の先生に伝えていきたいです。
- 俳句の楽しさを伝えるために、いろんな工夫を教えていただき、すぐに実践してみたいと思いました。低学年への指導に悩んでいましたが、ヒントをいただき、ぜひチャレンジしたいと思います。まずは自分自身も俳句を作ってみようと感じました。
- 「THE kukai」を教室で楽しませたいと昨年より取り組んでおり、1年を通して気づいた情景を心にとめて俳句手帳に書いている子もいます。今日教えていただいたことで、私自身もまた俳句に興味を持ちました。夏休み前に担任している1年生に「見つけたよ」で指導します。俳句好きな子どもを育てられたら・・・と思います。
- 俳句をどう教えたり一緒に作ったりすればいいのかがわかりました。言葉の入れ方もわかったので、まず自分が作ってみようかなと思いました。指導書も具体的に詳しく書かれてあったので、指導に活かしたいです。